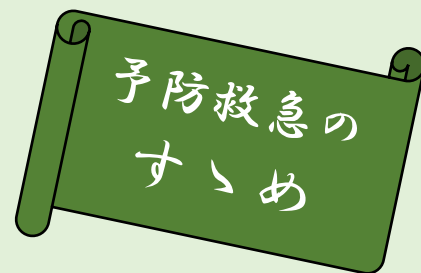


こども



こどもの突然死の主な原因は、大けが、溺水、窒息などの事故ですが、その多くは日常生活の中で十分に注意することで予防できるものです。

★予防のポイント★

【ころぶ、おちるの予防】

- 少しの段差や濡れた床等で転ぶ可能性があるなので目を離さない
- 転落防止の柵をつけたり、踏み台になるものを置かない
- ひも付きのものは外して遊ばせるようにしましょう（水筒、ブラインドのひも）

【きる、ささるの予防】

- 包丁やかみそりは使用后すぐに片付ける
- 手の届くところに置かない
- 簡単に開けられない場所に収納する

【たべるの予防】

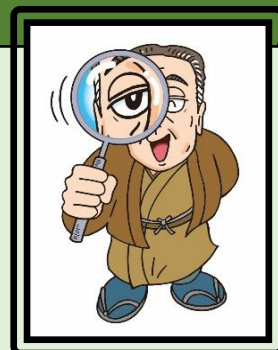
- 飲み込めそうなものは、手の届くところに置かない

【けがの予防】

- テーブルの角はやわらかいもので保護する
- 窓、ドア、引き出しは手や足を挟まないようにカギをする

【やけど、溺水の予防】

- 大人は目を離さないようにする
- ※やけど、溺水は、別紙チラシを参考に



中津市消防本部

年齢別の予防策（0～5歳児）



◎ 0歳児：事故防止のため周囲の環境に注意する

1. 手の届く場所に誤飲の原因となるもの（たばこ、硬貨、化粧品等）を置かない。
2. けがの原因となるもの（針、カミソリ、包丁等）を置かない。
3. うつぶせ寝の時は目を離さない、寝返りの際の窒息に注意する。

◎ 1歳児：誤飲及び転倒に注意する

1. やけどの原因となるポットは完全に閉め、お茶、コーヒー、みそ汁等の置き場所に注意する。
2. けがの原因となるモノはその都度安全な場所に片付ける。

◎ 2歳児：食品類（あめ玉、ゼリー等）による誤飲が多くなる

1. 動きまわることが多くなるので、子どもから目を離さない。
2. その他1歳児と同様の事故防止の対策をする。

◎ 3歳児：動きが活発になるため転倒による事故に注意する

1. おもちゃ等の誤飲が多くなるので、口に入る大きさのものは選ばないようにする。
2. 階段を上るときはこどもを先に、降りるときは親が先に降りる。
3. その他2歳児と同様の事故防止の対策をする。

◎ 4歳児：危険について教える

1. 行動が活発になってきて行動範囲もさらに広がるので広範囲にわたり注意が必要になってくる。
2. 高いところにも目が届くようになるので物が落下しないように注意する。
3. その他3歳児と同様の事故防止の対策をする。

◎ 5歳児：家庭内での事故は少なくなるが、事故があった場合は、より大きな事故になる

1. さらに危険についての教育をする。
2. その他4歳児と同様の事故防止の対策をする。

事故の原因を知って対策をしましょう！

予防救急を始めましょう！！

その他の予防救急はこちら→→→



心肺蘇生ガイドラインはこちら→→→

